

花ノ木遺跡・中街道遺跡 発掘通信 No.5

12月末、中街道遺跡下層の東側が調査終了しました。

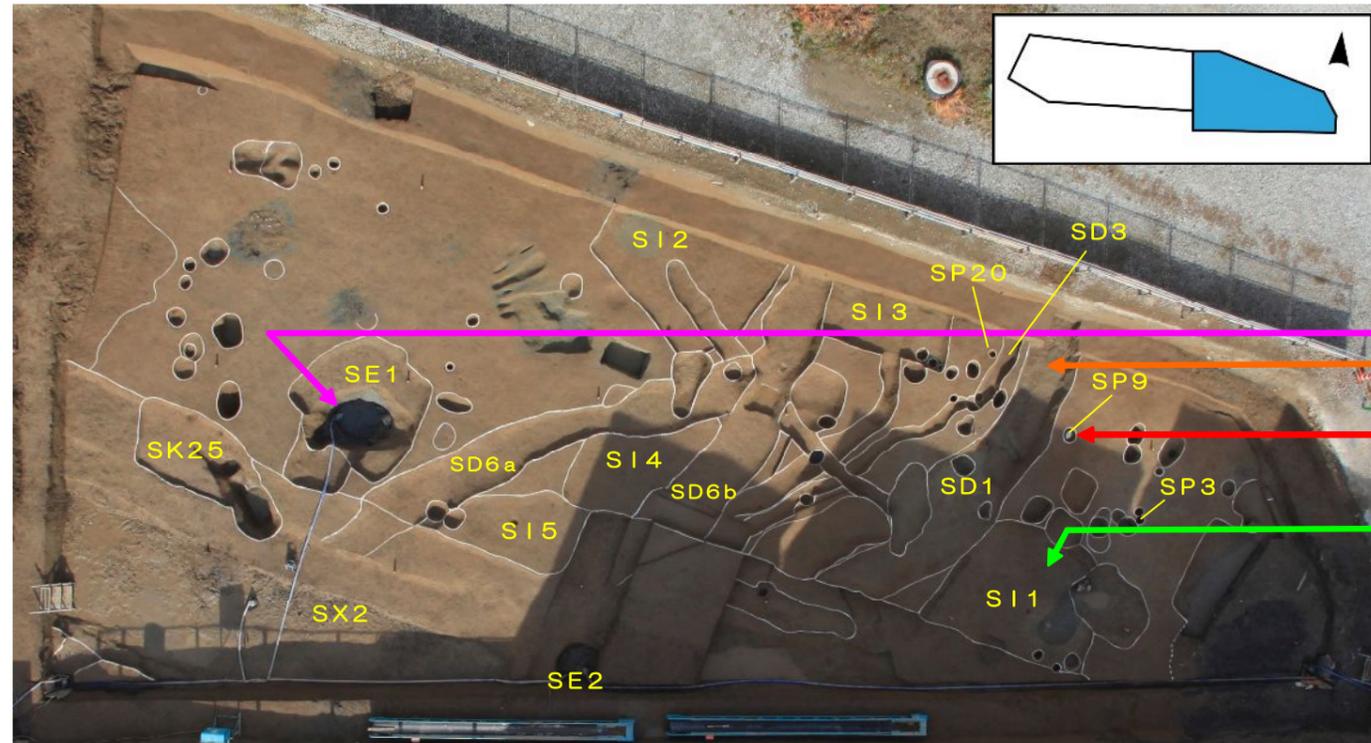
上層調査終了後、11月末から開始した中街道遺跡の下層調査は、工程の都合上、調査区の東側を先に実施しました。

その結果、古墳時代から鎌倉・室町時代にかけての遺構・遺物が多数見つかりました。

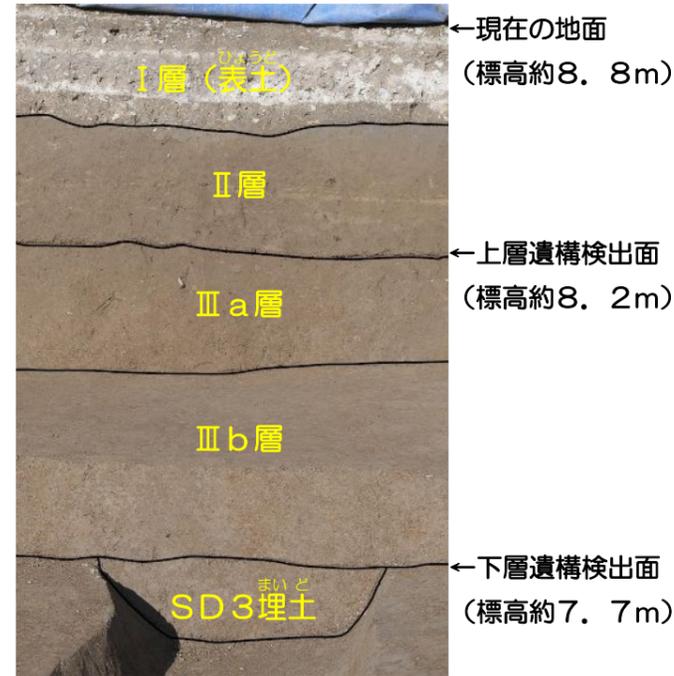
中街道遺跡が営まれた時期は、10月に調査をおこなった花ノ木遺跡とある程度重なりますが、その開始は中街道遺跡の方がより古かったようです。

遺構は、**竪穴住居**（S1）、**溝**（SD）、**土坑**（SK）、**柱穴**（SP ※礎石を持つもの含む）、**井戸**（SE）、**その他**（SX）が見つかりました。竪穴住居はカマドを持たず、室内に炉を設けるタイプが基本のようです。また2つ見つかった井戸のうち一つ（SE1）からは、木製品が出土しており、何らかの祭祀がおこなわれた可能性があります。

遺物は、古墳時代の土師器・須恵器、古代（奈良・平安時代）の須恵器・灰釉陶器・陶馬、中世（鎌倉・室町時代）の山茶碗などが多数出土しました。中街道遺跡でも花ノ木遺跡同様、複数の時代の遺物が混在していますが、これら一つ一つを丁寧に観察・整理すれば、各遺構の詳細な時期や遺物の使われ方が明らかになるものと思われます。



中街道遺跡下層 東側の全景と主な遺構



中街道遺跡の土層断面

※現在の地面・遺構検出面（下層）
ともに、花ノ木遺跡よりも標高が
約1m高い



溝 SD1 内 須恵器出土状況



柱穴 SP9 内 礎石出土状況



竪穴住居 S11 完掘状況



井戸 SE1 内 木製品出土状況

現在は、中街道遺跡下層の西側を発掘調査中です。

新年は2月上旬頃まで、残る西側を調査します。東側で検出した遺構の続きが見つかることは確実ですが、さらにどんな遺構・遺物が見つかるのでしょうか。

なお、下層西側は**2月2日に現地説明会（午前10時～正午、午後1時～3時）**を開き現場を一般公開する予定ですので、皆様是非ともご参加ください（同時に、花ノ木遺跡・中街道遺跡の出土遺物も展示いたします）。

埋蔵文化財保護の観点から、安全かつ迅速に調査をおこないますので、ご理解のほど何卒宜しくお願い申し上げます。
岩倉市生涯学習課・(株)アーキジオ